

# 2018年度社会福祉法人ときわ会事業報告

2019年6月4日

社会福祉法人ときわ会

理事長 加藤 寛二

## I はじめに

1978年に社会福祉法人ときわ会を設立して40年の節目の年だった。準備期間は短かったが7月17日にときわ会創立40周年記念集会「これから」を500名の参加者で盛大に開催することができた。あさやけの40数年の歩みやめざしてきたものについて、これからも関係者で確かめ合い、歴史を語り継いでいく必要がある。40周年記念誌に、1991年1月に作成したときわ会の理念「わたしたちのめざすもの」を基に、今の時代に合った表現にしたわかりやすい版「わたしたちのめざすもの」を掲載してある。これからも折にふれて「めざすもの」について伝えていく必要がある。

法人の組織運営については、理事協議会が定期的開催され日常の法人運営を担ってきているが、職員総数が122名になり、年齢、経歴など多様な職員構成になってきているなかで、施設長会議や主任会議の役割も大きくなっている。また、グループホームの職員が6カ所で20名近くになり、各ホームの現状や課題、法人の状況等を全体で確認するために、はじめてホーム全体会議を開催した。年数回でも顔を合わせる機会が大切であると感じた。

組織体制の整備とともに、人材育成も法人の長年の課題である。その一歩として、はじめて「新人職員研修」を計画・実施した。新採用者だけでなく、ここ数年に入ってきた職員も参加し、充実した研修になったと思われる。これからの課題として、各階層別の研修や専門的な研修、実践の交流も含めた法人内実習など研修のしくみを確立することが求められている。

## II 事業

### (1) 障害者福祉サービス事業の経営

※現員は2019年3月31日現在

	<u>定員と現員</u>	<u>年間通所率</u>
○生活介護事業		
あさやけ作業所	50名／56名	86.0%
あさやけ風の作業所	40名／42名	83.6%
○労継続支援B型		
あさやけ第二作業所	40名／51名	57.5%
サングリーン	25名／37名	61.6%

- あさやけ鷹の台作業所 30名／28名 87.5%
- 就労移行支援
- サングリーン 6名／2名 74.1% (定員充足率52.8%)
- 共同生活援助 入居定員 入居率
- 共同ホームつくしんぼ 5名 100%
- 共同ホームサンライズ(通過型) 7名 92.9% (空室月数6か月)
- 共同ホームこげら 5名 100%
- 共同ホーム一歩 10名 100%
- 共同ホームはやぶさ 7名 100%
- 共同ホームさらさ 5名 100%
- (2) 一般相談支援事業の経営 電話や面接で生活相談を受ける。
- 2018年度実績 年間件数 1日平均利用者数
- 電話相談 7,843名 26.8名
- 面接相談 2,320名 7.9名
- (3) 特定相談支援事業の経営
- サービス等利用計画 2018年度の実績 252名
- 内訳／精神障害者 210名
- 知的・身体障害者 42名
- (4) 地域活動支援センターの経営
- 交流室(交流スペース)で、利用者どうしでおしゃべりやゲーム、のんびり過ごすなど、各々が自由に過ごす空間。食事会やメンバーミーティング、女子会などのプログラムを行っている。
- 2018年度の年間利用者数 6,499名(1日平均 22.2名)
- 上記(2)(3)(4)の事業は地域生活支援センターあさやけが運営

<資料>

●各事業所の2018年度の作業収入の概要

	あさやけ	第二	サングリーン	鷹の台	風
縫製	1,370,709		2,491,046		
製菓・製パン	1,358,970		384,229		
喫茶		3,835,631			2,515,518
清掃		2,515,680	32,400	360,000	
廃品回収	260,170	25,490	67,590	65,460	60,474
下請加工	728,533	6,780,507	1,391,283		826,702
下請DM	688,700		1,867,059	15,395,282	
石鹸			2,535,011		
印刷・スポンジ			1,355,737		1,802,015

自主製品		246,852	378,230	855,124	
販売その他	171,164	175,928	639,302	202,580	1,412,095
合計	4,578,252	13,579,188	11,271,575	16,878,426	6,616,804

※自主製品は、あさやけ第二作業所の自動販売機の売上とあさやけ鷹の台作業所の染め物、

●各事業所の工賃支給総額と平均月額工賃額

	あさやけ	第二	サングリーン	鷹の台	風
工賃支給総額	3,149,320	8,551,190	5,780,531	4,874,485	2,800,950
平均月額工賃	4.686円	27,320円	13,137円	14,379円	5,396円
延べ契約人数	672人	313人	440人	339人	519人

※平均月額工賃は、工賃支給総額／延べ契約人数

Ⅲ 理事会・評議員会の開催状況

○理事会

	開催日	議案
第1回	平成30年6月8日	1. 平成29年度事業報告案の承認 2. 平成29年度決算報告案の承認 3. 固定資産物品破棄について 4. 権利擁護・虐待防止規程の承認 5. 中・長期計画の承認 6. 定時評議員会の招集の件
第2回	平成31年2月7日	1. 経理規程改定の承認 2. 平成30年度補正予算の承認 3. 再雇用職員就業規則及び給与規程の承認 4. 就労継続支援B型の建設計画について 5. サングリーンの定員変更の承認
第3回	平成31年3月22日	1. 平成31年度事業計画の承認 2. 平成31年度予算の承認 3. 居住支援法人の指定申請の承認 4. 役員の報酬額の改定について 5. 平成30年度第四次補正予算の承認

○評議員会

	開催日	議案
第1回	平成30年6月22日	1. 平成29年度会計決算及び財産目録の承認 2. 平成29年度事業報告案の承認

○評議員選任・解任委員会 今年度開催はなし。

○理事協議会 構成員／加藤理事長、田邊、遠山、松本、庄司、中川

法人の業務を進めるための協議・相談をする場として、今年度から名称を理事協議会に変更して、必要に応じて開催してきた。2018年度はほぼ毎月の10回開催して、法人全体の運営について細かにことも含めて協議してきた。具体的には、ときわ会創立40周年記念事業、ホームの都加算制度変更の対応、中途採用の人材確保、再雇用制度の導入、利用者の怪我の対応と防止、上水南町の土地活用、ホーム入居者の生活保障のとりくみ、2019年度新卒採用、中・長期計画制等について検討、協議してきた。

#### IV 組織運営

##### (1) 新人職員研修の実施

これまでの採用時の「法人あゆみと理念」の説明や事業所訪問から、新人職員育成の課題を踏まえ、「新人職員研修」を新たにスタートさせた。研修内容は下記のとおり。

日程	研修内容
4月3日(火)	法人の組織と事業内容の説明／事業所訪問 書類の確認、就業規則等の説明、研修の説明も含む
	法人のあゆみと現状及び課題
4月9日(月)	1 あさやけのあゆみと理念
	2 精神分野のとりくみと課題
4月10日(火)	3 知的、身体分野のとりくみと課題
	4 生活施設(ホーム)のとりくみと課題
4月11日(水)	5 あさやけの文化活動、地域活動について
	6 一緒に歌う！ 講師との懇談
4月17日(火)	相談活動から障害者の実態を考える
4月20日(金)	講演／福祉現場で働く若者へのメッセージ 発達、人格について 講師／児嶋芳郎(立正大学)
4月24日(火)	家族の声を聞く、地域の実態を知る
	息子と歩んだ人生、エレベーター設置運動 大西光子
	小平手をつなぐ親の会の活動から 上田幸子
	ひとりぼっちで悩んでいる親をつくらない 山下真理
7月～12月	ときわ会の事業所での実習

##### (2) 定年継続再雇用制度の整備

ときわ会の定年は65歳ですが、来年度から定年を迎える職員が続きます。年金受給年齢の引上げなど定年後の生活に不安もあり、継続して働くことを希望する職員も

多くいます。職員確保がきびしいなか、法人としても貴重な戦力として、長く働いていける条件を整備していく必要があります。2018年度の第二回理事会で再雇用職員就業規則及び給与規程が承認され、2019年4月1日から施行される。

(3) 規程の作成・見直しについて

○権利擁護・虐待防止対応規程

2018年度第一回理事会で承認、6月1日施行。

○経理規程の改正

サングリーンが新たに就労定着支援事業を10月からスタートしたことに伴う経理規程の改正。

## V 職員関係

### (1) 職員関係

①採用 新卒採用4名（配属先／あさやけ第二作業所、あさやけ風の作業所  
共同ホーム一歩、地域生活支援センターあさやけ）  
中途採用2名（配属先／共同ホームはやぶさ、共同ホームさらさ）  
中途採用1名（配属先／あさやけ作業所・産休代替職員）

②産休・育休取得 2名（あさやけ作業所）

③介護休業取得者 1名（あさやけ鷹の台作業所）

④傷病休暇取得者 1名（あさやけ風の作業所）

⑤障害者雇用 1名（あさやけ作業所、主な業務内容は清掃業務）

⑥退職者 2名

（あさやけ第二作業所在籍4年5ヶ月、共同ホームさらさ所在籍6ヵ月）

### (2) 職員の状況（2018年3月31日現在）

①職員総数 122名（正職員・準職員77名、日給・時給職員45名）

②正職員と準職員の年齢構成と在職年数

在職年数	20代	30代	40代	50代	60代	計
～5年	10	8	6	6	1	31
6年～10年	0	4	5	2	0	11
11年～15年	0	5	2	0	3	10
16年～20年	0	0	5	1	1	7
21年～25年	0	0	1	2	2	5
26年～30年	0	0	0	2	0	2
31年～35年	0	0	0	5	1	6
36年～41年	0	0	0	0	5	5
	10	17	19	18	13	77

※40歳未満の職員35.0%、在職5年未満の職員40.26%

## VI 主要事項の報告

### (1) 日中施設の取り組み

#### ○あさやけ作業所外部改修工事

1978年に建設したあさやけ作業所2階棟は築40年を経過しているため、建物維持管理計画に沿った改修範囲にして工事を行なった。

・工事の概要 工事の目的 建物の維持管理に必要な改修工事

工事の内容 1) 勾配屋根の改修  
2) 軒桶の交換工事  
3) 外壁等補修と建物洗浄

工事の期間 5月10日～6月18日

・契約金額 7,322,400円(全額自己資金)

#### ○サングリーンの2階厨房天井改修工事

屋根裏に鳥が入り、作業所中に異臭が充満したため、衛生面から緊急の工事を行なった。

工事の内容 厨房の天井の張替えと天井内の消毒

工事の期間 6月22日～27日

工事の金額 734,400円

### (2) 暮らしの場の取り組み

#### ○共同ホームサンライズの居室等のリフォーム

1997年3月に再建したサンライズは築20年が経過していたが、大家さんの提案もあり、順次に入居者が集まるホール、事務室、居室についてリフォームを実施した。

リフォーム内容は、壁紙の張替え、床の張替え、トイレなど

#### ○共同ホームの生活保障のとりくみ

現状はサンライズを除く、他のホームは週末に帰宅することを基本に運営している。週末もホームで過ごせる体制を築いていくことが課題となっている。2018年度東京都がグループホームの都加算制度の変更を打ち出し、開所日数を増やさないと補助金収入が減額することになり、その対応として各ホームで開所日数を増やしてきた。そうしたなか母親の死亡や家族の介護力の低下などにより、家に帰ることができなくなり、365日ホームで過ごす事例が生まれて来ている。地域生活を保障していくために日中作業所の職員の協力も得ながら、何とか週末ホームで過ごせる体制を取ってきている。法人としては、臨時対応として週末利用等の勤務者への賃金支払を実施してきた。

### <資料>

#### ○ときわ会ホームの概要(2019年3月31日現在)

	サンライズ	つくしんぼ	はやぶさ	さらさ	こげら	一歩
開設年	1988年	1992年	2014年	2017年	1995年	2001年

主たる対象者	精神	知的	知的	知的	知的	身体
入居者数	7人	5人	7人	5人	5人	10人
正規・準職員数	1人	1人	5人	4人	2人	4人
その他の職員	2人	1人	0人	1人	3人	13人
夜間支援の有無	無	無	有	有	無	有
建物所有形態	賃貸	賃貸	賃貸	法人所有	賃貸	賃貸
建物区分	一戸建て	一戸建て	一戸建て	一戸建て	アパート	一戸建て
業務委託	なし	ひまわり	ひまわり	ひまわり	ひまわり	ひまわり・あい

※食事づくり、入浴援助、掃除等についてNPO法人たすけあいグループひまわりにホームの業務を委託している。共同ホームつくしんぼ・こげらは世話人・生活支援員の業務も委託している。

## VII 2018年度の研修・地域活動等の取り組み

### (1) ときわ会創立40周年記念集会「これから」を開催

40年の節目に当たり、関係者で今一度「わたしたちのめざすもの」を確かめ合い、新しい歩みを踏み出す集会とする。記念集会は利用者を中心とした舞台発表・映像での活動報告をして、関係者で40年を祝うものとした。

開催日／7月17日

会場／ルネこだいら大ホール

来賓／80名 参加者／約500名

開催費用／143万円（記念誌印刷、あさやけだより縮刷版の発行、記念品、会場費等）

### (2) あさやけアートフェスティバル2018の開催

開催日／7月13日（金）～7月17日（火）

会場／ルネこだいら展示室・CAZE CAFÉ なかまち

展示数／251点 出品者数／123名

外部団体の出品／おだまき、あーともはなこ

来場者数／約600名（芳名帳記入者数510名）※なかまの芳名帳記入者数70名

企画／個人に焦点を当てるクローズアップ、ワークショップ、アートトークなど

### (3) 第37回あさやけサマースクール

期間／7月30日（月）～8月3日（金）

参加者／小金井特別支援学校4名、田無特別支援学校16名、小平の特別支援学級4名  
旭出学園1名、東京学芸大学附属特別支援学校1名 合計26名

スタッフ／武蔵野美術大学介護体験学生、親の会、特別支援学校・学級の教員  
あさやけの職員

内容／仕事（縫製、紙すき、製菓、受注作業）レク活動（太鼓、ポッチャ、創作活動）  
川遊び

### (4) KODAIRAわいわいバザール

昨年に続いて都立小平特別支援学校を会場にして開催した。

日時／10月7日（日）～8日（月）

会場／都立小平特別支援学校

お祭り広場では地域の障害者団体の「キラキラ人形劇団」や「こげら合唱団」の公演、模擬店には地域の福祉団体が多く出店してくれた。地域の交流を深める機会となった。決算／売上合計207万円、支出合計115万円（倉庫、備品、宣伝等の費用）

差引収益92万円

(5) 私宅監置と日本の精神医療史展の開催

小平市精神障がい者理解促進研修・啓発事業として、映画「夜明け前―呉秀三と無名の精神障害者の100年」の上映会と「私宅監置と日本の精神医療史展」の展示を行った。主催は小平市だが、法人として企画・運営の役割を担った。

開催日／12月7日（金）～9日（日） 映画上映は12月9日（日）

会場／ルネこだいら展示室及び中ホール

(6) 2018年社会福祉法人ときわ会実践交流会の開催

日時／12月8日（土）午前9時～午後17時

会場／小平元気村おがわ東会議室

内容／①講演 考え合おう！語り合おう！～「人権」「障害」・・・そして「性」～  
人間と性教育研究協議会障害児・者サークル世話人 日暮かをる  
永野 佑子

②報告 権利擁護委員会の取り組みについて あさやけ風の作業所

③グループワーク

支援のグレイゾーン、職員と利用者との関係性、利用者の自己決定の尊重の3つのテーマについてグループで議論